

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	③	学校名	奈良養護学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「社会参加学習」での地域作り実習を通して学ぶ
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「総合的な探究の時間」及び「自立活動」に位置づけ、一人ひとりがよりよく生きていけるために豊かな社会性を育み、自らの特性を生かした生活を設計するための力を養う。
連携・協働相手	ヘルマンハーブの会、宇治宏さん（ギター演奏者）
地域と共有している目標・課題等	地域社会でともに生きるという観点をもち、交流の機会をもつ。本校の生徒については、文化に触れ、コミュニケーション力、集団活動に主体的に参加する力を養うことを目標や課題とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>10月31日（火）にヘルマンハーブの会を、11月7日（火）に宇治宏さん（ギター演奏者）をそれぞれ奈良養護学校へ招き、音楽鑑賞や楽器の演奏体験などの交流活動を行った。体育館で感染対策をとりながら実施した。いずれの演奏会も生徒たちのなじみのある曲も取り入れながら演奏をしていただいた。</p> <p>事前の取組として、本校の生徒たちの実態や学校の様子、生徒たちのなじみのある曲を演奏者の方に伝えることにより本校の啓発をはかることができた。また演奏会当日は、生徒たちもヘルマンハーブやギターに触れたり、音を出したりすることで、演奏者や楽器を身近に感じることができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>ヘルマンハーブの会や宇治宏さん（ギター演奏者）に普段の学校生活の中で生徒たちが聞いている歌などを曲目に入れていただくなどの配慮をいただいたことにより、演奏会当日において生徒たちは興味をもって演奏を鑑賞することができた。ヘルマンハーブやギターに触れたり、音を出したりすることができたことに喜ぶ生徒たちも多かった。来年度以降も関係を大切にしながら演奏会を実施したいと考えている。新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行したが、本校の生徒たちの実態を考慮し、演奏者の人数を絞って実施した。来年度以降は個々の生徒たちが演奏者の方との交流の機会をさらにもてるように、演奏者の人数を増やしていただくことを依頼するなどの検討をしていきたい。</p>

